

NO.7 ちゃんと伝わってる？ ～マスク生活での保育士の不安～

いこま乳児保育園 田村佳奈子・増田実希子

背景

問題は保育士の困り感

保育の中で困っていることアンケート

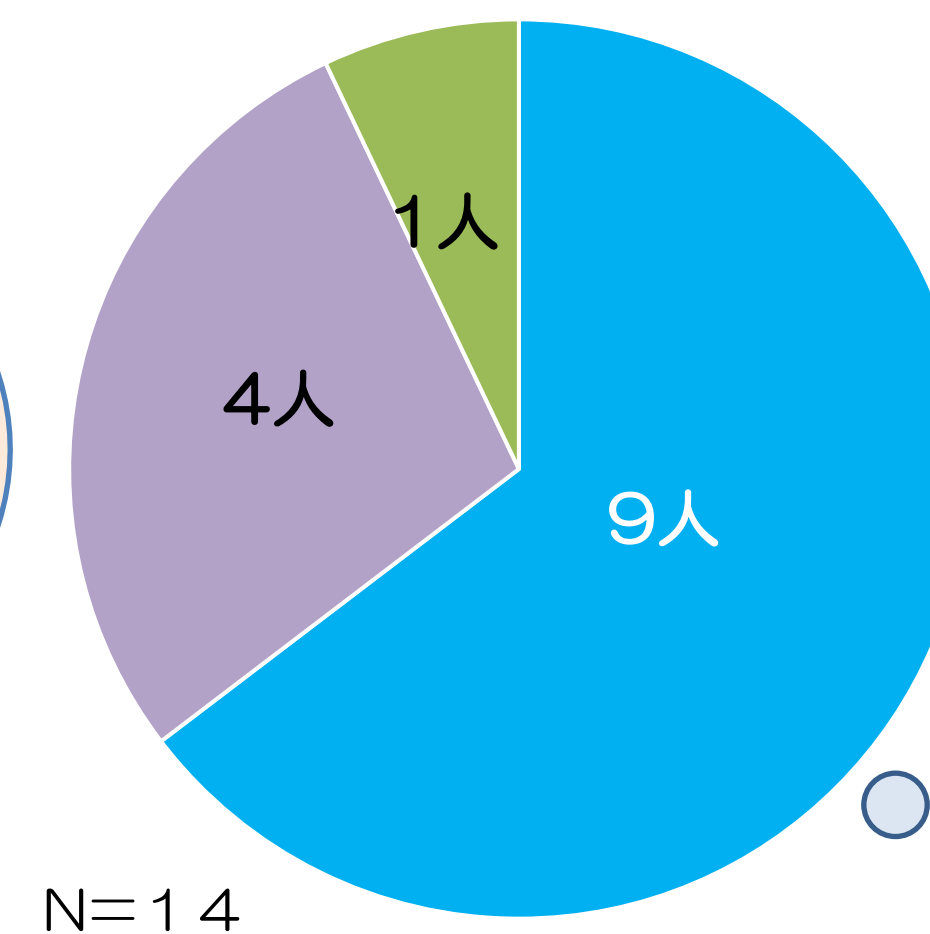
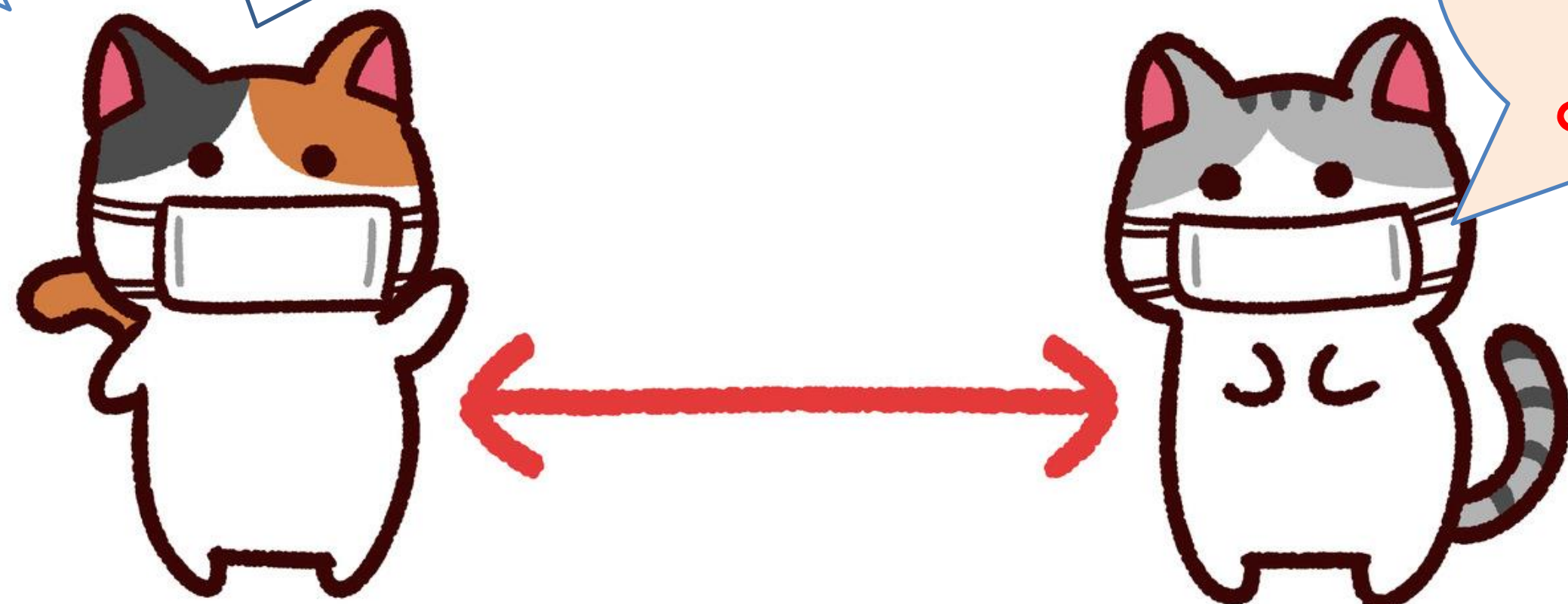
子ども達に表情や言葉が伝わってるか不安やわ

子どもたちは気にしてないみたいやけど

口元が見えるマスクは高いしなあ…

そしたら園にあるもので作ってみようか！

フェイスシールドも飛沫しそうやけど…



NO.1 食事の介助
NO.2 絵本の読み聞かせ
NO.3 歌を歌う時（手遊び）

口元が見えていない中でどうやって咀嚼を促せばいいの？

方法

全園児78名対象で一か月間毎日食事の介助のみ手作りマスクを各クラスで使用することにした。

口元が見えるように切り抜きクリアファイルを綿テープで隙間なく両面から張り付ける。



どう気持ちは変化していったのか？
をメモにとっておいてもらう。

結果 手作りマスクを着けて不安が改善傾向にあった。

保育士の口元を見て、真似してしっかり咀嚼したり嚥下するようになった！

あぎあぎ～♪



“あぎあぎ”だよ！

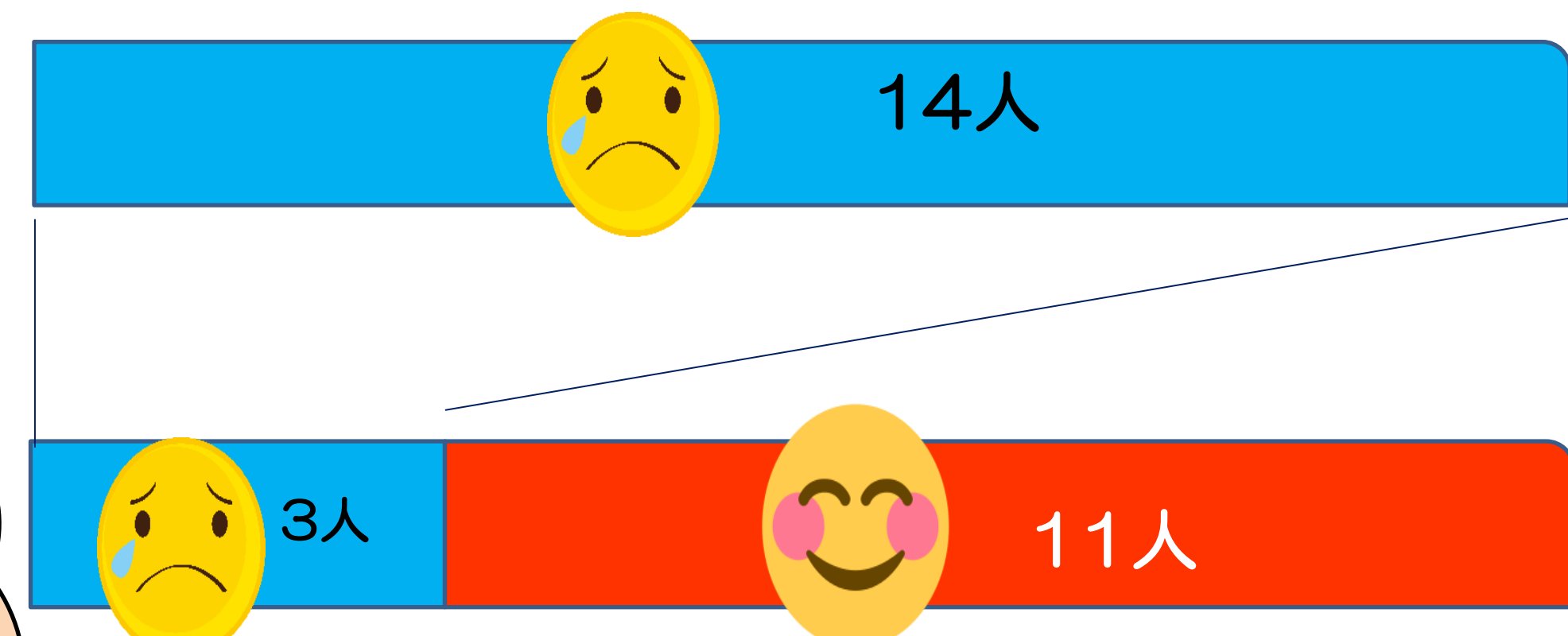


先生のお口だ！



普通のマスクでは保育士の目に注目していたが、手作りマスクをつけると口元に注目するようになり…

不安は軽減されたかな？！
マスク使用後のアンケート結果



GOOD!



N=14

先生たちの声

★子どもたちの実際の様子は動画にて紹介。



- 声がかえると口元を見てくれるので、伝わっている感があり「あぎあぎ」と同じ動きをしてきていた。
- 衛生面を考え使い捨てるので、作るのが大変だった。マスクの窓が曇ったり、息苦しかった。
- 違和感を感じて泣きそうになったり怖がっている子もいたが、継続することで慣れていく様子だった。
- 保育士の顔に口があるということを認識して、マスクをずらそうとする姿が見られるようになった。

★改善点★

- 曇りにくく、息がしやすいマスクを考える。（試作②）
- 市販のマスクの購入を検討する。

マスクの作り方は動画にて!!



★まとめ★

乳児期は大人の口や舌の動きをまねることで、咀嚼や発語を学んでいく大事な時期。大人が顔全体を使って表情豊かに伝えることが、子どもの発達の上ではとても大切であると今回の研究で改めて感じる事ができた。保育士一人一人が安心して保育できるよう、これからも工夫し取り組んでいきたい。コロナが一日でも早く収束し、マスクを使用せず保育できる日が早く来ることを祈る。